

ヒメザゼンソウ(有毒植物)による食中毒が発生しました

平成 26 年 4 月 13 日

魚沼地域振興局健康福祉部

発生概要	平成 26 年 4 月 13 日午前9時ころ、医療機関から、有毒植物による食中毒と思われる症状を呈した患者がいる旨の連絡が魚沼保健所にあった。	
	同所で調査した結果、4月12日午後4時頃、魚沼市在住の男性が同市内の山林で食用のウルイ(オオバギボウシ)と思われる野草を採取し、同日午後8時30分頃、自宅でゆでて1家族4人中1人が食べたところ、喫食直後に口のしびれを呈し、医師の治療を受け、入院していることが判明した。また、13日、患者宅の残品と同日当該野草の採取場所から新たに採取した植物を専門家に依頼して鑑別したところ、有毒植物のヒメザゼンソウであることが判明した。	
患者の状況	摂食者数	1人
	患者数	1人(50代男性)
	治療を受けた者	1人
	入院した者	1人
	死亡した者	0人
	症状	口のしびれ
	原因食事	野草のおひたし
病因物質	植物性自然毒(ヒメザゼンソウ)	



採取場所に生えていたヒメザゼンソウ

ヒメザゼンソウについて

- ・ザゼンソウより小型で、ザゼンソウとは逆に葉が先に出て、6月頃花が咲く。
- ・シュウ酸化合物が含まれており、口に入れると強い刺激を起こす。
- ・以前は、可食としている図鑑もあったことから注意が必要である。

有害植物による食中毒に注意しましょう

- ・種類の判定ができない植物は、「採らない」「食べない」「人にあげない」
- ・確実に鑑定できる専門知識のある方に鑑別してもらいましょう。
- ・保健所でも相談を受け付けています。

■平成26年 新潟県内食中毒発生状況(※本日発表分を含む)

	発生件数	患者数
4月 13日 現在	10件	256人
昨年 同期	7件	97人

この食中毒の問い合わせ先

魚沼保健所(魚沼地域振興局健康福祉部内)

衛生環境課 夏井

直通 025-792-8619

E-mail; ngt111520@pref.niigata.lg.jp

※ヒメザゼンソウの写真が必要な場合はメールをお願いします。

本日の報道対応は午後7時までとさせていただきます。